

## 塘研究室現地調査報告

5月19日に裏磐梯にて現地調査を実施しました。調査参加者はM2生の難波元生君と塘の2名で、難波君が修士論文研究：外来底生動物（この日はフロリダマミズヨコエビ）の食性解析のための各種材料採集でした。晴天で、気温も最適で、絶好の調査日和でした。桧原湖畔探勝路沿いの池、長瀬川小野川橋付近、五色沼湖沼群の毘沙門沼東岸の3ヶ所で採集を実施しました。

桧原湖畔探勝路沿いの池ではコオイムシ類が多く、みはみんな卵塊を背負っていました。その他、キリバネトビケラ属、ミズムシ、ガムシ類3種（ガムシ、キベリヒラタガムシ、たぶんコマルガムシ）、チスイビル、フタバカゲロウ、オオルリボシヤンマ、エゾトンボ科、イトトンボ類などが採集されました。長瀬川小野川橋付近ではミズムシが非常に少なく、採集するのが大変でした。逆にヘビトンボは多かったです。その他、様々な底生動物が見られましたが、ヒラタカゲロウ類、オオシマトビケラ、オナガサナエ、モンカゲロウなどを動物サンプルとして持ち帰りました。毘沙門沼はやっとヒルムシロ類の浮葉が見られ始めた状態でした。ミズムシが多く、アメリカザリガニもかなりの個体数を採集することができました。その他にはキリバネトビケラ属、オオルリボシヤンマ、エゾトンボ科、イトトンボ類、クロズマメゲンゴロウ、ヌカエビなどが採集されました。

フロリダマミズヨコエビは3ヶ所いずれの場所でも多かったですが、中でも長瀬川の川岸付近のデトリタスが堆積している場所には夥しい数が見られました。



桧原湖畔自然探勝路



コオイムシ類だらけ（桧原湖畔自然探勝路）



長瀬川小野川橋付近



岸付近のデトリタス堆積部（小野川橋付近）



毘沙門沼（五色沼湖沼群）



毘沙門沼の様子